



3月定例会、1/16、2/10、3/27臨時会

- \* 8年度当初予算…………… 2～3
- \* 当初予算質疑…………… 4
- \* 施政方針…………… 5
- \* 臨時会…………… 6
- \* 一般質問…………… 7～13
- \* みんなのPR …… 14

磐梯ブラックダイヤモンドズ  
全国大会出場



# 3月定例会 令和8年度予算を可決

一般会計予算額 **56億6,457万円**

特別会計予算額合計 10億3,973万円

水道事業会計

1億5,270万円 (収益的支出)

2億2,519万円 (資本的支出)

下水道事業会計

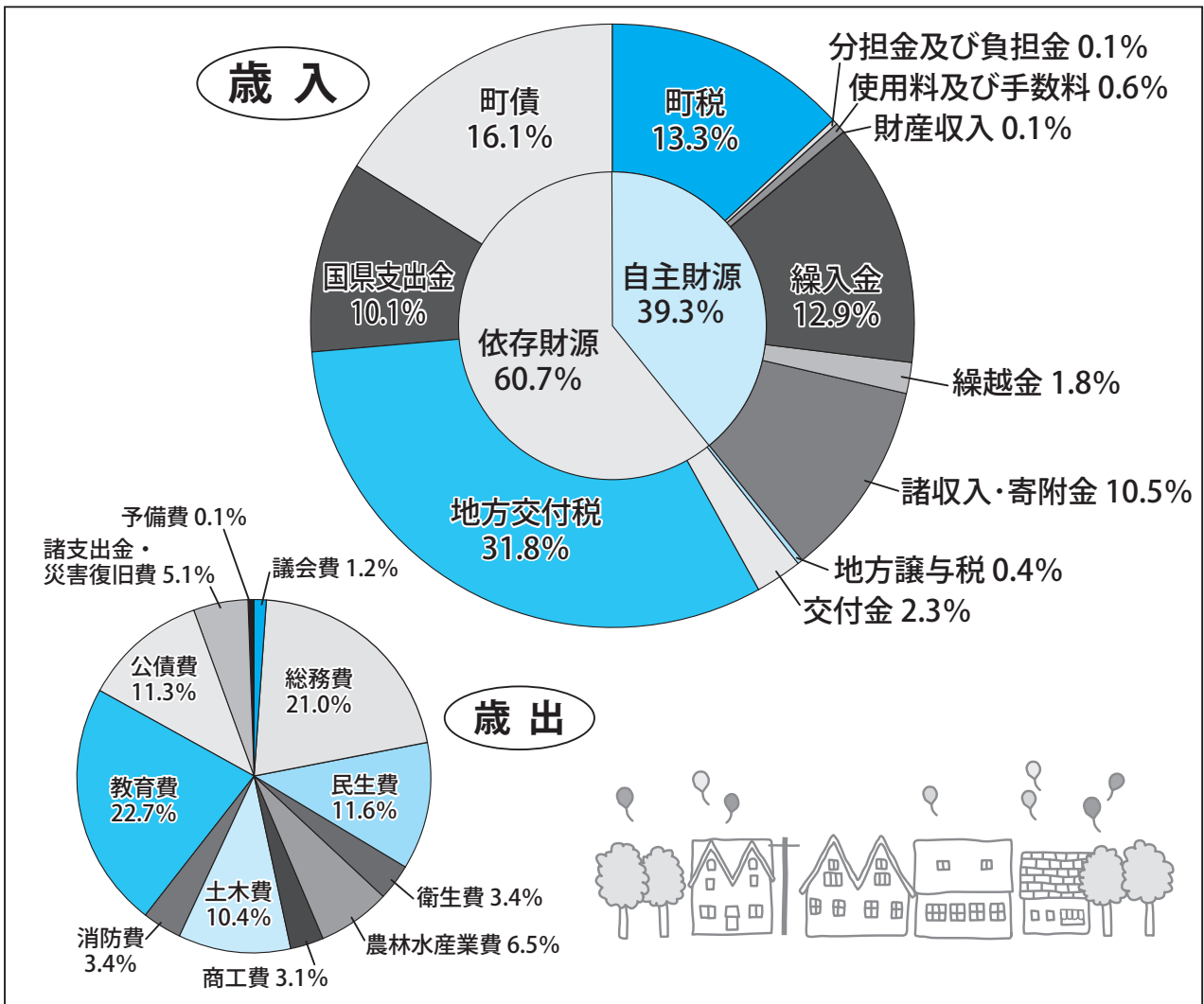
2億3,943万円 (収益的支出)

2億3,938万円 (資本的支出)

3月定例会は、5日から13日までの会期で開催されました。新年度予算案など町長提出27件の全議案が審議され、すべて原案通り可決されました。一般会計では7人が登壇し、町政全般について、当局の考えを質しました。

## 一般会計

重点事業として、ばんだいの森整備事業、ふるさと納税推進事業、地域交通運行事業、磐梯町産米品質向上支援事業、生活応援商品券配布事業、地域デジタル通貨「ばんだいコイン」運営事業、認定こども園整備事業などを実施。



## 特別会計予算

国民健康保険	4億1,919万円
後期高齢者医療	6,289万円
介護保険	5億5,763万円
公団分収造林	2万円
水道事業 収益的収入	1億4,823万円
収益的支出	1億5,270万円
資本的収入	2億1,196万円
資本的支出	2億2,519万円
下水道事業 収益的収入	1億8,300万円
収益的支出	2億3,943万円
資本的収入	2億3,938万円
資本的支出	2億3,938万円

## 令和8年度主なる事業

ガバメントクラウド利用事業	2,112万円
ばんだいの森整備事業	3,835万円
ふるさと納税推進事業	2億5,000万円
地域交通運行事業	5,204万円
広域衛生費負担金	3,635万円
新規就農者育成総合対策事業	2,400万円
磐梯町産米品質向上支援事業	7,000万円
日本型直接支払交付金事業	7,182万円
地域デジタル通貨「ばんだいコイン」運営事業	2,908万円
生活応援商品券配布事業	3,740万円
橋梁長寿命化事業	2,000万円
道路維持事業	2億4,819万円
除雪ドーザ更新事業	6,600万円
道路新設改良事業	7,500万円
消防設備更新事業	2,550万円
広域消防負担金	1億2,923万円
語学教育交流事業	2,159万円
小学校照明器具LED化改修事業	9,720万円
認定こども園整備事業	5億8,195万円
磐梯山慧日寺資料館運営事業	4,025万円
ふれあいセンター指定管理運営事業	3,300万円

### 人

### 事

#### 人権擁護委員候補者

鈴木幸一氏（源橋）が引き続き人権擁護委員候補者として推薦されました。

### 条例関係

◇磐梯町乳児通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

令和8年度から、乳児等通園支援事業が本格実施になることから、施設が備える設備や運営に関するルールなどについて条例を制定するもの。

◇磐梯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
県の職員の給与に関する条例の改正に基づき、通勤手当の限度額を改正するもの。  
（限度額7万6百円を7万7千円に引き上げる）

◇磐梯町体育館施設条例の一部を改正する条例

供用時間を熱中症防止のため、一部の時間を延長するもの。（5月～8月において午後5時から午後7時まで2時間延長）

◇磐梯町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例  
道路法施行令の一部改正に伴い、道路占用料を改正するもの。

◇磐梯町町営住宅設置条例の一部を改正する条例  
町営住宅の取り壊しによる戸数の変更及び名称について所要の改正を行うもの。

◇磐梯町定住住宅条例の一部を改正する条例  
漆方若者住宅の一部を、町に定住を希望する者に払い下げるため、用途廃止に係る所要の改正を行うもの。

◇磐梯町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

人口減少による地域の実態に即した組織の見直しを行うにあたり、第二分団各班の消防力を維持するため、班再編と統合による定数削減を行うもの。（消防団員の定数を170名から160名に削減、第二分団の班を統合し9から4に削減）

# 当初予算の質疑

## 一般会計

### 法人町民税

**問** 法人町民税にかかる法人割の算定方法は。

**答** 法人割については、過去5年間の実績に基づき算定している。

### 特別地方交付税

**問** 特別地方交付税算定にかかる地域おこし協力隊、集落支援員、地域活性化起業人の活動について広く町民へ周知すべき。

**答** 地域おこし協力隊は活動報告を行っている。その他のパートナー人材についても早々に活動報告の機会を設けたい。

### 有害鳥獣対策

**問** 有害鳥獣対策のガバメントハンターとは。

**答** 緊急銃猟対策など有事に対応するため職員からハンターを養成するもの。ガバメントハンター3名を予定している。

### 除雪対策

**問** 除雪オペレーター不足への対応は。

**答** 各方面に声をかけ、新規で1名採用することが出来た。今後は、町補助事業を活用して免許を取得し、正式にオペレーターになっていただきたい。

### 地域学校協働活動

**問** 地域学校協働活動の取り組み状況は。

**答** 放課後の活動支援として、一小や幼稚園での遊び場運営、スポーツ体操教室を実施している。

### 公債費

**問** 過疎対策事業債も非常に厳しくなっている。今後の財源の見通しは。

**答** 起債協議可能額もどくらしいになるか見通しが立たないので、今後は、起債に頼らず財源を捻出するよう地域未来交付金等の活用を視野に入れて予算編成を行っていく。

### 国民健康保険特別会計

**問** 子ども子育て支援分が国保税に上乘せされるが、どの程度か。

**答** 子ども子育て支援金にかかる上乘せ分は、平均で1人月300円、年間3、600円ほど加算される予定である。

### 後期高齢者医療特別会計

**問** 保険料改定について

**答** 後期高齢者医療の保険料改定は2年に一回であり、今回は、令和8年、9年分の改定となる。均等割は、前回と比較し3、100円増の49、000円、所得割は、0・26%増の9・24%となる。

**問** 特定健康診査等事業費の増の理由は。

**答** 特定健診受診者は、年々増えてきているので、その状況を視野に入れて予算額を増額した。

### 介護保険特別会計

**問** 介護サービス給付費が減って介護予防サービス給付費が増えているが。

**答** 介護サービス給付費については、施設利用者が減って在宅介護者が増えているので減っている。介護予防サービス給付費は、デイケア等常時サービスを利用する方が増えているため。

**問** 基金残高はどのくらいか。また、第10期計画の際、保険料の改定によって増額されるのか。

**答** 基金は、令和7年度末で5、866万5千円を見込んでいる。第10期計画においては、報酬改定、サービス料改定があるが、第9期に月500円引き上げた経過があり、基金もあるので保険料は据え置きたいと考えている。

### 水道事業会計

**問** 水道料金値上げと値上げの幅の考えは。

**答** 令和7年度に経営計画を改定し、令和8・9年度において料金改定の議論をし、議会、町民に説明後、令和10年度に料金を改定する方針である。値上げの幅については、水道債借入れによる交付税措置等シミュレーションの精度を高め、受益者負担を最低限の範囲で抑えたい。

**問** 老朽化した石綿管の更新について。

**答** 緊急性を勘案し、工夫して財源を確保し計画に基づいて更新を実施している。

### 下水道事業会計

**問** 下水前処理装置の実証実験経緯について。

**答** (株)シグマの下水道接続事業を行うために、処理池(POD)を1基増設すると約5億円の費用が発生する。人口減少を考慮すれば5億円の処理池増設は過剰投資になると判断し、新技術の下水前処理装置による実証実験を行った。

# 2026 町長の施政方針



令和8年度は「総合計画 後期基本計画」の最終年度であり、令和2年度から始まった計画期間の集大成となります。私たちのビジョンである「自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい、魅力あるまちづくり」を具体的に具現化する極めて重要な一年です。

引き続き、人口4,000人に向けた積極的な人口増政策に取り組めます。

## 1 未来に繋がるまちづくり

### ① 子育て施策

- ・「こども家庭センター」を設置し、児童福祉と母子保健の両面から、妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、一体的に相談・支援実施体制整備。
- ・作業療法士による発達勉強会の開催。
- ・(仮称)ばんだい認定こども園の令和9年4月の開園に向けハード面、ソフト面の準備を進め万全を期す。

### ② 教育

- ・小学校「学校選択制」によるグループでの協働学習、体験・交流活動・自由進度学習等の推進
- ・スクールコミュニティの推進
- ・認定地域クラブ設立による放課後活動の充実
- ・語学教育交流事業の継続実施
- ・歴史・文化・交流
- ・「慧日寺跡整備基本計画」に基づく「整備実施設計」の着手

## 2 やりがいのある仕事づくり

### ① 農林業・有害鳥獣対策

- ・認定農業者や農業生産法人を核に定年帰農や半農半X、企業参入、

地域おこし協力隊等の多様な担い手の確保に向けての支援

### ② 観光

- ・「名水ブランド化事業」に基づく施策の推進
- ・観光地域づくり法人「DMO」の創設
- ・台湾観光交流人口拡大事業の継続
- ・「くくしまディスプレイーションキャンペーン」における町の魅力発信、観光PR。

### ③ 広報

- ・WEBサイトのリニューアルに伴い、広報全体的な体制強化

## 3 充実した暮らしづくり

### ① 健康・医療・福祉

- ・「健康磐梯21磐梯町健康増進計画」に基づきすべての町民の健康づくりを支援
- ・健康寿命延伸のための口腔ケア実施、心の健康に配慮したオンライン健康相談の実施

・包括的な高齢者支援と活躍できる場づくり、共生社会実現を目指した障がい福祉・障がい児福祉計画に基づく日常生活支援

### ② 安全・安心

・地域実情や人口動態を踏まえた消防団組織の再編成、自主防災組織結成推進、防災計画の見直し

### ③ 公共交通

・生活福祉バス、AIオンデマンド交通の継続と運行時間見直し

### ④ 循環型社会と生活インフラ

・ごみの減量化と再資源化の促進、リサイクル化事業による排出抑制

・上下水道における水道水の安定供給、適切な汚水処理

## 4 共創協働のまちづくり

### ① 幸せ・まちづくりの再デザイン

・定住人口とデジタル住民・二地域居住を合わせた目標人口4,000人

### ② 行政経営・働き方の再デザイン

・職員が自分らしく働ける環境を実現した先に真に必要な政策立案等に集中できる体制づくり

### ③ 共創・協働のデザイン

・協定締結した企業、自治体とのつながりを生かした企業版ふるさと納税等を含めた更なる財源の創出、パートナー人材との共創・協働

# を 政 問 町 (一般質問) う

(登壇順)

－ 五十嵐 大将 議員 － 7ページ

1. 町の文化的遺産における保護継承について
2. 社会福祉施策のさらなる仕組み作りについて

－ 高橋 浩次 議員 － 8ページ

1. フリーアドレス化について

－ 中嶋 貴子 議員 － 9ページ

1. 磐梯町デジタル住民票の目的および今後の方向性について
2. 生成AI時代におけるメディアリテラシーを育てる取り組みについて

－ 穴澤 一郎 議員 － 10ページ

1. 他市町村及び各種法人との連携協定等の成果について

－ 小林 修治 議員 － 11ページ

1. 令和8年度における主要なる事業と行政課題について
2. まちづくりの再デザインについて

－ 松坂 隆洋 議員 － 12ページ

1. 公共施設のあり方について

－ 佐藤 孝則 議員 － 13ページ

1. 集落支援を充実すべき



一般質問の動画録画配信をYouTubeの磐梯町公式チャンネルにて行っています。  
こちらからご覧ください。



1月16日

一般会計補正予算(第9号)が可決されました。  
主な内容は、物価高騰対策事業と橋梁撤去事業委託料と町道整備工事費です。



2月10日

一般会計補正予算(第10号)と除雪機械の取得が可決されました。  
主な内容は、衆議院議員総選挙に係る経費と除雪機械の取得に係る契約締結です。



3月27日

磐梯町職員の複業促進条例の制定と令和7年度一般会計補正予算(第12号)が可決されました。  
磐梯町職員の複業促進条例の目的としては、国において地方公務員の複業に係る検討

が進められており、その環境整備を求める通知が发出されたことから国の方針を参考に複業を原則可能とする環境整備をするものです。  
令和7年度一般会計補正予算(第12号)の主な内容は、繰越明許費と地方譲与税、各種交付金、地方交付税、国庫補助金等の確定です。

五十嵐 大将 議員

録画配信は  
こちら



**問** 町文化的遺産における保護継承の具体的考えは？

**答** 公的支援は困難だが今後も調査研究を行っていく

【質問】文化遺産である巫女舞、明神舞の人材確保について町のバックアップを求めるが見解について伺う。

【教育長】第一小学校において、総合学習の中で巫女舞を学ぶ機会を保存会の協力により継続されている。

来年度から始まる認定地域クラブでも、巫女舞などの町の文化芸術に触れる機会を検討している。

【質問】町指定文化財の修繕費用に係る補助率アップと建物等のチェック体制は今後も必須と考えるが、町はどのように進めるのか考えを伺う。

【教育長】指定文化財に対する補助率は事業費の50%を限度としており、これ以上の引上げは難しい。大切な地域の伝統や文化、コミュニティを守っていく観点からも、専門知識を持つ有識者の方々に歴史的価値の評価や意見をいただき文化財について調査研究等を進め、まちづくりに繋げ

ていきたい。

【質問】龍ヶ沢湧水およびその散策道路の保全整備について実態把握をし、地権者等へ整備の協力を求めるなど取り組みを前進させていくべきと考えますが具体的な構想について伺う。

【町長】道路環境等の整備及び有害獣対策については、実態を把握していきたい。

また、積極的な自然環境保全を推進している町として、大切な水源地である「龍ヶ沢」を守る観点から、現在のところ、「龍ヶ沢」および散策道路の新設などの新たな保全整備は考えていない。



**問** 社会保障制度の新たな仕組作りを更に推し進める考えはあるか

**答** 町民皆が自分らしく生活できるため支援体制構築に取り組んでいく

【町長】現時点では「ピアサポーター制度」という名称での直接的な取り組みはないが、その理念に通じる支援として、介護者支援ネットワークの強化、相談機能の充実と人材育成、専門家との連携、啓発活動を通じた心のバリアフリー化の推進に取り組んでいる。

【質問】障がいや介護を受ける方々が、多くの希望や夢を持てるよう、町が現在考えている事業の内容と、その効果について伺う。

【町長】現行の事業に加え、交流機会の創出が図れるような事業を展開していく。

【質問】介護職員初任者研修の実施で受講者の具体的意見感想、今後の計画等について伺う。

【町長】今回の研修受講者については、町が進める共生社会の実現に向けてサポートする人材の名簿に登録をし、イベント等の参加を促していく。

※ピアサポーターとは  
同じ立場や経験を持つ人  
同士で支え合う人のことです。

【質問】難病とされる疾患や障がいにより後遺症を抱える方々を取り巻く支援として、近年、ピアサポーター制度の整備が、厚生労働省を中心に全国的に進められている。町としてピアサポーター制度を含めた仕組みづくりをどう考えるか。

高橋 浩次 議員

録画配信は  
こちら



**問** フリーアドレス化について

**答** 住民サービス向上に取り組む

【質問】本町では、職員一人につき一つの固定席を撤廃し自由に席を選ぶことができるフリーアドレス化を進めている。

現在は行政経営課、総務課、教育課において実施しているが、今後は役場全体に進めるのか。

【町長】フリーアドレス化は現在、行政経営課、総務課、教育課、文化生涯学習課で実施している。今年の1月には町長室も廃止し、町長自身もフリーアドレスにて公務を行っている。

フリーアドレス自体が目的ではなく、職員の働きやすい環境づくりや、コミュニケーションを図り、業務の効率化、ひいては、住民のサービス向上が真の目的である。

一方で総務課は、給与計算や人事管理等多くの個人情報を取り扱うことから、完全なフリーアドレス化はせず、状況を踏まえ来年度以降の展開を考える。

【質問】フリーアドレス化を町民の方々に理解されるよう周知する考えは。また、進めることで町民サービスの低下に繋がらないか。

【町長】業務の効率化が図られ、部署を超えたコミュニケーションや新しいアイデアの創出や協働の強化に繋がり、結果としてより良い行政サービスが出来るものと考えている。また、今後は、総合窓口への移行を含む窓口機能の再デザインを検討し、住民サービスの向上に取り組む。



※フリーアドレスとは  
職場で自分専用の席を持たず、空いている席を自由に使う働き方のことです。

**次回の定例会は  
6月上旬に行われます。**

**ぜひ傍聴においでください。**

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入するだけです。

くわしい日程は、後日チラシ等でお知らせします。

議会を傍聴する際、3階へはエレベーターをご利用ください。

中嶋貴子議員

録画配信はこちら



**問** デジタル住民票のPRはできているか？

**答** ターゲット層へあらゆる方法で普及させたい

【質問】関係人口の可視化や二地域居住の促進を目的に導入されたデジタル住民票制度について、関係人口施策としての位置付けと、マーケティングデータ収集・分析との関係をどのように整理しているのか。また関係人口の入口としてどのように活用していくのか。

【町長】デジタル住民票制度は、本町の愛着人口の増加と可視化を目的とした基盤整備であり、移住定住や二地域居住の入口として町への関心や関わりを促すものである。また取得したデータは、地域マーケティング分析や地域所得向上にも活用していく。

【質問】ふくしまポータルによるイベント・観光情報の発信状況はどうか。また、県内6市町村との連携の進捗と、ばんだいコインの企業間取引機能追加の検討状況はどうか。

【町長】県内他自治体との連携は現時点では実現していないが、令和8年度に向けて制度活用の相談があり調整を進めている。ばんだいコインは企業間取引などの新機能を「ばんだいコイン2.0」として研究開発している。



特典が使えるデジタル住民票

【質問】ターゲット層へのPRや登録導線はどう設計しているのか。また登録者の登録経路や特典利用状況、アンケート結果を制度改善にどう生かすのか。

【町長】登録促進では、町内企業に勤務する町外通勤者を主なターゲットとし、企業を通じた普及を重視している。併せて、シニア層や二地域居住者、首都圏居住者などに向けたPRでは、クーポン付やお試し住宅の割引などの特典を検討している。

**問** 情報の真偽を見抜く力をどう育てるか？  
**答** 最高AI責任者を中心に研修や指針策定を進める

【質問】生成AIやSNSの普及により真偽の判断が難しい情報が広がる中、本町はこの情報環境をどう認識しているのか。また行政での生成AI活用に向け、職員が適切に活用するための取組はあるのか。

【町長】生成AIは利便性と危険性を併せ持つと認識しており、町では最高AI責任者（CAIO）を設置した。研修や指針策定を進め、「触れる・使う・慣れる」の段階的取組で職員のAIリテラシー向上と業務効率化を図る。

【質問】現在の情報モラル教育に加え、発信者の確認や他の情報との比較、元情報の確認など、情報を主体的に読み取り判断する力を育てる学びは行われているのか。

【教育長】文科省のガイドラインを踏まえ、町内小中学校では生成AIを有効なツールとして活用しつつ、情報には誤りが含まれる可能性を前提に読み比べや判断の重要性を指導している。今後は外部専門家や教材を活用し、ファクトチェックの学びを充実させる。

【質問】高齢者を含む町民が、生成AIやデジタル技術による誤情報や詐欺被害に遭わないための啓発や支援について、現在の取組と今後の方向性を伺う。

【町長】高齢者の誤情報や詐欺被害への対策は現時点で特段の施策はないが、消費生活相談事案の周知や警察との連携、集落支援員による対話などを通じ、知識や判断力の啓発による被害防止に努める。



録画配信は  
こちら

穴澤 一郎 議員

**問** 包括連携協定の成果は

**答** 成果はあり継続していく

【質問】令和元年6月の佐藤町政発足以来、他市町村との連携協定が7件、各種法人関係が27件と協定を締結した。本町と埼玉県横瀬町及び島根県海士町の三町未来共創協定についてどのような取り組みを行ったのか。

【町長】三町の強みを最大限に生かし、新たな自治体運営に挑戦するものであり、職員が相互の自治体に一定期間滞在し、自町業務を派遣先で学ぶ制度により、これまで本町から延べ16名が参加した。海士町の「半官半X」「大人の島留学」、横瀬町の「よこらぼ」などの先進事例を学んだ。

【質問】この協定により効果はどのように表れたのか。

【町長】三町連携自体がメディアで注目され、認知度向上や企業との関係構築にも効果が生まれた。

【質問】職員のマインドはどう変化し効果があったのか。

【町長】職員の「視野の拡大」と「挑戦する風土の醸成」であり、他自治体職員との交流を通じ、前向きな意識が高まり、前例踏襲を打破する動機につながったと考えている。

【質問】この連携協定については期間が定められていないが、継続していくのか。

【町長】本協定は今後も継続し、厳しさを増す行政環境の中で、一自治体のみでは解決できない課題に対し、他自治体や民間の知見・資源を活用する。



海士町の港

【質問】「鎌倉市との包括連携協定」について、どのようなことを行ったのか。

【町長】同市福祉総務課職員が本町の共生社会推進プロジェクトに参画し、専門的な知見を共有しながら継続的な助言をいただいた。一方で、鎌倉市側には本町の「真のBPRプロジェクト」にオンラインで参加し、条例・規則見直しを軸とした業務改善の取組手法を共有した。

【質問】内容についての効果はどのように表れたのか。

【町長】集落支援員への助言を通じた介護職員初任者研修の資格取得支援や防災土育成の促進などにつながった。副次的効果として、昨年は鎌倉市主催の観光イベントに連携自治体として出店し、磐梯町産米や日本酒の販売も実施した。

【質問】この連携協定について継続していくのか。

【町長】双方の意思により1年延長可能となっており、現在の成果を踏まえ継続更新を

目指している。

【質問】様々な包括連携協定の中で成果が最も大きかった実施内容と、全く成果等が無く、整理する内容があるか。

【町長】株式会社バンドイと昨年7月に締結した「ばんだいサステナビリティ連携協定」は、最も成果の上だった連携と認識している。連携協定については、今後適切に整理をしていく。



横瀬町の施設

※半官半Xとは、公的な仕事(官)をしながら、もう一つ自分の活動(X)を行う働き方のことです。  
※BPRとは、業務のやり方をゼロから見直し、抜本的に改革することです。

小林 修 治 議員

録画配信は  
こちら



**問** 令和8年度の重点政策事業は何か

**答** ハード事業として「認定こども園」を整備する

【質問】 令和8年度のソフト事業・ハード事業の重点政策を伺う。

【町長】 ハード事業については、認定こども園整備事業、除雪ドーザ更新事業、小学校照明器具LED化改修事業等で、ソフト事業の主なものは、A-オンデマンド交通の運行時間延長に係る地域交通運行事業や渋谷キューズ活用等共創・協働推進事業、磐梯町産米品質向上支援事業等である。

【質問】 人口減少・少子高齢化の現状認識は。

【町長】 5年に一度の国勢調査の速報値では、令和7年の人口が30333人となり、令和2年の33222人から289人の減少で、依然として厳しい状況であると認識している。

他方、令和7年1月から12月までの住民基本台帳人口の推移は転入者116名、転出者は115名で1名の社会増となっている。こうした傾向

から、これまでの町が推進する移住定住施策が一定の成果を上げているためと認識している。

【質問】 教育施設の課題認識を伺う。

【教育長】 特に学校施設の老朽化が進んでいる状況にあるが、子どもたちの未来を守るために、「持続可能性・安全性・質の向上」を最優先に、事業を着実に進めていかなければならないものと認識している。

【質問】 変化する社会情勢に柔軟に対応できる「次世代型の自治体運営」をどう目指していくのか。

【町長】 従来型の運営において町を維持していくのは極めて厳しいと認識している。

そのため、企業版ふるさと納税の積極的な獲得や公共施設の統廃合や用途転用等も視野に入れた見直しを検討していく。

**問** 町づくり各種資格取得費用の支援を  
**答** 町財政状況も鑑み、今後精査する

【質問】 「幸せプロジェクト」の成果指標の数値管理は。

【町長】 新年度は、見識あるパートナー人材の知見を活用し、人口の状況やデジタル住民の数、共創・協働の取組により獲得したふるさと納税の状況等について、町のウェブサイトでリアルタイムに誰でも確認できる環境を構築する。

【質問】 「住民・地域のエンパワーメントプロジェクト」における研修・講座の内容は。

【町長】 共生社会実現に向けた介護職員初任者研修受講者は10名（男性4名・女性6名）、町民6名・町外者4名）で、防災士講座受講者は54名（男性38名・女性16名）、町民43名・町外者11名、行政関係12名・議員2名・消防16名・民間企業20名・その他4名）である。



【質問】 「人が集まるまち」を目指すのであれば、「安全に人を動かせる人材」育成は必要不可欠で、安全はコストでなく、町の信用力であり、成長戦略の土台でもある。

町づくり基盤政策の一環として、雑踏警備業務・交通誘導警備業務員養成の資格取得費用の支援を考えられないか。

【町長】 人材育成に係る費用については、町財政状況も鑑みて、今後精査する。

松坂隆洋議員

録画配信は  
こちら



**問** 空き施設はどのように活用するのか

**答** 地域交流を生かして有効活用する

【質問】本町においても公共施設の維持管理は、大きな課題となっている。持続可能な行政運営の観点から、認定こども園の開設、今後、空き施設となる可能性のある保育所、児童館の活用をどのように考えているか伺う。

【町長】認定こども園の整備にあたっては、財源として公共施設マネジメント特別分を活用しながら進めている。既存施設については廃止を基本としつつ、民間事業者への活用や譲渡も視野に入れ、町のランドスケープデザインとして整合を図りながら検討を進めていく。

【質問】公共施設の財政負担軽減は、会津耶麻町村会等で検討されてきた公共施設の共同利用について、その後の経過はどうなっているのか伺う。

【町長】会津耶麻町村会加盟自治体および喜多方市を含めた協議において施設機能を相互に補完し合うことは有効な

手段であるとの認識が示されている一方で、維持管理費の負担割合や交通手段の確保、住民感情への配慮など課題もあり、引き続き検討が必要だ。今後は関係自治体と連携し、ハード面だけではなくソフト面も含めた取り組みを進めていく。

【質問】リオン・ドール磐梯店内のコミュニティスペースなど、十分に活用されていない空間における部分は今後どのようにいかしていくのか伺う。

【町長】当該スペースは、町民や団体の交流や地域活性化を目的として活用されており、また公有民営方式により整備された施設であり、地域にとって重要な拠点の一つになっている。今後はさらなる有効活用に向け民間の力も取り入れながら、新たな活用方法について検討を進めていく。



活用が検討される児童館

※ランドスケープデザインとは  
人と自然が心地よく共存  
できる外部空間のデザイン  
のことです。

佐藤孝則 議員

録画配信はこちら



**問** 集落への支援をすべき

**答** 新たな視点での支援体制を構築する

【質問】集落内の人口が減れば、様々な共同作業、例えば農地、道路農道、用排水路、集会所、神社仏閣の管理負担が増え、維持が困難になる。人口減少が必然の時代に集落の魅力を高めるため、金銭的、人的に町は集落支援を充実しなければならぬと思うが町の考えを伺う。

【町長】集落支援のための現状の対策として、農地の管理や多面的機能の維持のため、「日本型直接支払制度」を軸として支援を行っている。本制度における地域一丸となった共同活動や環境保全活動、また平地との生産条件格差の是正による耕作放棄地の発生防止など、金銭面・活動面双方からの支えを行い、地域住民の皆様方に集落機能の維持を図っている。

また一方で、農業従事者の高齢化に伴う労働力不足、少子高齢化による活動力の低下に対しては、町全体の課題となり、単なる人的支援ではなく、スマート農業の導入促進

による省力化など、新たな視点での集落支援体制の構築を検討する。

昨年に全行政区の役員や民生委員との「地域の担い手座談会」を開催し、地区ごとの課題や展望について、意見交換を行った。主なる意見については、役場内でも関係各課に情報共有を図っており、来年度、総合計画の改定作業に併せ、地域の声を幅広く伺い、町政運営に反映していく考えである。



共同作業の様子

※町総合計画とは  
町の将来の方向性や目標、まちづくりの方針をまとめた最上位の計画です。

## 議会に参加しましょう。

町民の要望などを直接反映させるための方法として誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。議会では、議員の紹介があるものを「請願」、紹介がないものを「陳情」として扱っています。

# 磐梯ブラックダイヤモンドズ U12 全国大会出場!

令和8年3月30・31日に東京都調布市にある京王アリーナ TOKYOにて『第57回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会』が開催され、本町ミニバスケットボールクラブチームの「磐梯ブラックダイヤモンドズ U12」が福島県内の頂点を勝ちとり、出場しました。

## 大会の様子をレポートします。



京王アリーナ TOKYO

4面ある巨大なアリーナにチーム名が表記されていました

大会では全国各地（神奈川、長野、奈良）の代表チームと3試合対戦し、白熱した試合を展開しました。結果は3戦3敗でしたが、そのうち2試合は後半猛烈な追い上げでわずか1ゴール差の接戦となり、最後まで粘り強いプレーが続く試合となりました。



- とてもレベルが高かったけれどとても楽しかった。全国には強いチームがいることがわかったので、もっと練習して頑張りたい（加藤晴主将・6年）
- 会津や福島より全国のレベルが高くてびっくりした。悔しい思いをしたから中学では頑張ります！（鈴木煌生・6年）
- 大きい舞台だったけど、緊張せずに思いっきり楽しめた。自分たちの世代でも全国大会を目指したい！（五十嵐舜汰・5年）

## 磐梯町スポーツ少年団 仲間募集中!

スポーツを通して、体力だけでなく仲間との絆や挑戦する力を育てています。磐梯町ではバスケットボール、バレーボール、ソフトボール競技で子どもたちが元気に活動中です！興味ある方はお気軽にお問い合わせください

### バスケットボール



**【練習日】**  
 男子 月、木、金  
 女子 火、木、金 17時半～19時半  
 土日：練習試合が入る場合もあり  
 場所：磐梯一小・二小・町民体育館  
 (連絡先) 代表 元橋秀昭  
 TEL 090-2601-8325

### バレーボール



**【練習日】**  
 月、水：18時～20時半  
 土、日：8時～16時  
 練習試合が入る場合もあり  
 場所：磐梯一小 体育館  
 (連絡先) 監督 遠藤英美  
 TEL 090-1499-1665

### ソフトボール



**【練習日】**  
 水：15時～17時  
 場所：磐梯二小校庭  
 土・日：8時～12時  
 場所：磐梯二小または河東学園(小学校)校庭  
 (連絡先) 保護者代表 杉本裕史  
 TEL 070-6496-2070  
 ※河東ソフトボールスポーツ少年団と合同で活動しています

委員	委員	副委員長	委員長	議会広報委員会	編集	議長	発行責任者	議会だより
古川	五十嵐	中嶋	穴澤			鈴木	久一	
綾	大将	貴子	一郎					

（文責 中嶋貴子）

3月議会では新年度に向けた予算や施策について議論が行われました。

町の未来につながる取り組みをこれからも分かりやすくお伝えしていきたいと思えます。

3月議会では新年度に向けた予算や施策について議論が行われました。

町の未来につながる取り組みをこれからも分かりやすくお伝えしていきたいと思えます。

3月議会では新年度に向けた予算や施策について議論が行われました。

町の未来につながる取り組みをこれからも分かりやすくお伝えしていきたいと思えます。

## 編集後記

新年度を迎えました。

3月は町内の幼稚園・小学校で卒園・卒業式が行われ、4月には入学式にも参加させていただきました。

子どもたちの新たな門出に立ち会い、本町の未来への希望を感じました。

3月議会では新年度に向けた予算や施策について議論が行われました。

町の未来につながる取り組みをこれからも分かりやすくお伝えしていきたいと思えます。